

工学部の授業アンケート

新工学教育プログラム実施検討委員会
委員長 湯浅太一

2007年11月26日授業評価WS@事務棟

背景:工学部における組織的FD活動

- 8大学工学教育プログラム委員会(1996~)
 - 8大学工学部長会議
 - 大学院教育課程, 国際競争力, 達成度判定
 - 各大学が産業界からの参加者を推薦
- ABET (IEEE), CSAB (ACM), JABEEの試行(2000)
- 新工学教育プログラム実施検討委員会(2000~)
- デイバート型による工学部FDシンポジウム(2000~2002)
 - 2, 3回生対象の専門科目いくつかと全学共通科目全般
 - 学生アンケート(全学科ほぼ共通)
 - 学生役, 教官役, 中立
 - 日本工学教育協会工学教育賞, 文部科学大臣賞 受賞(2003)

組織的FD活動(続き)

- 新工学教育プログラムについての意見交換会(2000)
 - アウトカムズ評価
 - 採用時・入社後10年・20年の評価, 教育効果向上の手段
 - 大学教育について(期待される教育とは, 創成型科目の是非)
 - 京大OB(模範生)
- 授業参観プロジェクト
 - 高等教育教授システム開発センターとのジョイントワークショップ
 - 専門科目講義を録画 ⇒ ワークショップで検討
- 関西工学教育協会などの学外組織と連携(まず広報活動から)

授業アンケートの経緯と概要

- 2004年度に3学科が, 自己点検などのために授業アンケートを予定
- 「相互研修型FDの組織化による教育改善」(2004~)
 - 特色GP(Good Practice)
 - 代表: 高等教育研究開発推進センター 田中毎実先生
 - 目玉: 工学部FD活動で得られるデータをセンターが分析し, 工学部にフィードバック
- マークシート方式の授業アンケート
 - 2004年度後期(3学科)スタート
 - 2005年度からは年次進行, 2005年度: 1回生, 2006年度: 1・2回生, 2007年度: 1・3回生
 - 当該学年配当の全科目(専門および全学共通科目)
 - 講義科目用と実験・演習用の2種類

授業アンケート実施形態

- 学期末最後の講義で担当教員が配布・回収
- 10分~15分程度
- 専用の封筒に回収して最後の学生が封印
- 各学科の教務事務所に提出
- 工学部教務がとりまとめて高等教育センターへ
- 業者に集計を委託
- 集計結果は科目ごとに担当教員に送付
- 工学部教育シンポジウムに反映
 - 第1回: 2005年12月15日(金) 16:30, 工8, 約110名
 - 第2回: 2006年12月16日(金) 16:30, 工8, 約110名
 - ・ 文部科学省「先導的大学改革推進委託事業」から参観
 - 第3回: 2007年12月14日(金) 16:30, 桂ホール, 約160名(予定)

工学部・高等教育研究開発推進センター共催
第2回工学部教育シンポジウム

1. 日時 平成18年12月15日(金)16時30分～18時30分
2. 場所 京都大学工学部大講義室(工学部8号館)
3. プログラム
16:30 開会挨拶 工学部長 西本清一
16:35～17:05 調査報告:
工学部授業アンケートの結果と分析 (17年度後期・18年度前期)
高等教育センター 大塚雄作
17:05～18:15 教育改善に向けて
①私の授業－アンケート結果を受けて－
渡邊 史夫(建築工学概論)
榊 茂好(基礎物理化学A)
北條 正樹(材料力学1)
久門 尚史(電気回路基礎論)
田中 利幸(システム解析入門)
②カリキュラム改善の課題
新工学教育プログラム実施検討委員会委員長 湯淺太一
18:15～18:30 ディスカッション